

いちめんのなのはな

令和元年 7月19日(金)
こうちょう 校長 すすき 木 まこと 誠

充実した1学期

-人とのかかわりの中で子供たちは大きく成長しました-

明日からは、子供たちが心待ちにしていた夏休みです。この1学期、子供たちはすくすくと成長しました。そして、そこには、私たち六ツ美中部小学校の職員の営みに加えて、多くの方々とのかかわりがあったことを忘れるわけにはいきません。

体育祭では、六ツ美中部学区社教委員会と学区体育委員の皆様の御尽力に加えて、多くの皆様の御参観により、子供たちは最高の舞台を得て、輝くことができました。誕生月を迎える子供たちと、学年ごとに校長室で給食を食べるのですが、7月になっても、「1学期に楽しかったことや心に残る出来事」を尋ねると、多くの子供が真っ先に「体育祭」と答えます。



六ツ美中保育園の皆さんにお世話になりタマネギの収穫やカレーライスパーティーを通して保育園の子供たちと交流した1年生。いつもはお世話になることが多い1年生ですが、お兄さんやお姉さんの立場を意識する貴重な機会でした。

2年生は、5年生とともに田植えで、地域の方にお世話になりました。そして、トマトやナス、ピーマンなどの豊かな収穫は、子供たちの熱心な世話に加えて、愛知県立農業大学の先生からいただいた御助言がもたらしてくれたものです。そうそう、ザリガニとりでは、通りかかった地域の方に、コツを教わったそうです。御厚情と豊富な知恵に感謝します。



「総合的な学習の時間」で、3年生はキューピー株式会社やカルビー株式会社の方から食について学びました。体験的で専門的な学習により、自分たちの食について見つめ直す契機となりました。4年生は、JAあいち三河から婦人部や職員の皆様をお招きして、菜種油絞りを体験しました。6年生は、市防災課から防災対策係の方を招き、防災意識を高めました。



5年生は理科の単元「電磁石の性質」での学習で、名古屋の「リニア・鉄道館」を訪れ、世界の最先端の科学技術や物づくりを体験しました。

本校にかかわってくださったすべての皆様に心より感謝いたします。あわせて、紙幅の関係で紹介できなかった皆様にお詫びいたします。

さて、今年の夏休みですが、8月28日(水)から2学期が始まります。そのおかげで、昨年まで酷暑の7月中旬に実施してきた岡崎市小学校球技大会をキッズウィーク(10/2/水~10/4/金)に実施できます。8月下旬の暑い中でも子供たちが授業に集中できるようにと、6月中旬に小中学校の全学級の教室にエアコンを設置してくださった岡崎市に心より感謝しています。そして、中部っ子の無事と健康を願い、再会を楽しみにしています。

水泳学習・天候不順でも励む 7月16日(火)・17日(水)



天候不順が続くこの頃ですが、水泳学習の時期は限られているということもあり、できるだけ実施するように努めています。

16日(火)はときおり小雨が降る曇天でしたが、2年生がビート板を使ったバタ足の練習に取り組みました。上手に浮ける子供も増え、子供たちはできることを増やしています。

17日(水)は、久しぶりに顔を見せた太陽に見守られ、3・4年生が合同で「水遊び集会」を開催しました。紅白に分かれて、「水中かけっこ」や「水中

丸太(役の子供)運び」を行いました。水面で、日差しと子供たちの歓声や精一杯の姿が踊りました。



4年生・部活動がんばっています。



本入部をした4年生が部活動に励んでいます。ソフトボール部では、様々な状況に応じたベースランニングを5・6年生に教えてもらいました。先輩にとっても、基本を整理する良い機会となっているようです。

合唱部ではパートに分かれ、5・6年生に後ろから歌ってもらいながら音を確認していました。異年齢の子供たちがともに活動する良さを感じました。

俳句の会 7月17日(水)

講師に岡崎市民俳句の会の皆様を講師にお招きして、5年生が俳句の会を行いました。

体育館で基本を学んだ後、校庭や中庭に出て講師の先生方に御指南いただきながら、俳句作りに勤しみました。指南役と夏らしい天候に恵まれたからでしょうか、一句目に苦労しましたが、子供たちらしい感性で、俳句作りを楽しみました。

俳句作りの後、体育館で、一人一人が作ったいくつかの句に対して指南役の方に「選句」していただき「披講(ひこう:読み上げ)」と「選評」をしていただきました。

感想を述べる場面では、挙手が後を絶たず、「一文字代えるだけで(俳句が)変わることがわかった。」などの発言が、子供たちの感動を物語りました。岡崎市民俳句の会の皆様、ありがとうございました。



水泳部・合唱部選手激励会 7月18日(木)

夏休みに大会に参加する水泳部とコンクールに参加する合唱部の子供たちを激励する会を行いました。水泳部の男子キャプテン古川さんは「練習してきたことを出し切り、大会でベストを出せるようにがんばります」、女子キャプテン和田さんは「日頃から全力を出し、苦しい練習に耐えてきました。大会では全力で戦います」、合唱部部長の山崎さんは「優秀賞がとれるようにがんばります」と決意を述べました。

すべてを出し切るとともに、家族や先生と仲間、ともに戦う他校の子たち、大会等の運営に対して感謝する子供たちであってほしいと願っています。